

# 東海大学付属諏訪高等学校

# PTA会報

発行：東海大学付属諏訪高等学校 PTA

編集：会報委員会

印刷：(株)美騰堂



## 「諏訪という街に魅せられてパートII」

東海大学付属諏訪高等学校

校長 中村 正幸

この街に来て早いもので、九か月が経った。今は師走である。シングルベルが街に流れ、茅野駅は素敵なイルミネーションで飾られている。子供のころからそうだが、この年末の風景や人たちが慌ただしくしている姿が好きである。何かソワソワしてくるのである。令和元年がもうすぐ暮れるのである。

こちらに来た頃「この街は季節ごとに色合いが変わるよ」と教えていただいた。春のピンク、夏の緑、秋の赤そして冬の白。まさにその通りである。一年がそれぞれの色に分かれているのである。

本当に美しい街である。今は八ヶ岳の山頂が白くなり始めている時期である。まさに「絵葉書」の世界である。夜には満天の星空を眺めることができる。異邦人である自分には贅沢すぎる景色である。そんな令和元年下半期を振り返ってみよう。

九月。東海文化フェスティバルを初めて体験する。生徒たちの表現力、プレゼンテーション能力に感動する。茅野サイエンスフスタにおいては堂々と接客する生徒たち。楽しい科学実験を子供たちに提供する生徒たちに感心する。本校の「文化の力」を思う存分発揮してくれた。あらためて本校の文化部の充実を感じることができた。

十月。スポーツフェスティバルにおいては、本校生徒たちの運動能力に感嘆する。アトラクションもあり爆笑する。楽しく、愉快な生徒たちである。それでいながら節度を持っている生徒たちが素敵だ。本校の運

動部の中でも傑出している男女バスケットボール部がウインターカップの出場を決める。必ずやインターハイでの悔しさを晴らしてくれるであろう。

十一月。それぞれの運動部が新人戦で好成績を収める。まさに「文武両道」である。本校生徒の「継続する力」「あきらめない姿勢」「真摯な努力」「粘り強さ」を本当に感じる。生徒たちに敬意を払いたい。これは、厳しい気候を乗り越えて生きてきた「諏訪っ子」のなせる業であると感じるのである。自然が与えてくれている試練が「根気」を育んでくれるであろう。

十二月。師走に突入する。月日が経つのは早いものである。今年の自分はどうかだうたかといつも振り返るのである。「誠実に人と向き合えたか」「自分の目標を達成できたか」「常に笑顔でいられたか」…。

もうすぐ新年がやってくる。それぞれが一年歳をとるのである。高校三年生においては、あと数日でこの母校を巣立つていくのですね。どうか皆さんいつまでもお元気で。そしていつでも母校に帰ってきてください。皆さんの今後に幸多かれと祈ります。最後になりましたが、今年この長野県を襲った台風により被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

保護者の皆様、今日までPTA活動にご尽力いただきました。誠にありがとうございました。これからもどうぞよろしくお願いたします。



交わす言葉

交わす活字

PTA会長

清水 浩明

電車の中、飲食店どこへ行っても「スマホを手を下を向いている人がいない場所はない」と言っても過言ではない時代となりました。

昔は家に帰り友人と話すのは居間に設置されていたダイヤル式の黒電話。時代はアナログからデジタルへ変化するとともにデジタル技術の急速な進歩で便利となった反面、不便な事も。例えば、何処に居ても、どんな時でも電話が繋がる。またSNSでは既読表示が標準で、既読後放置できない。そんな状況にストレスを感じる人も多いのではないのでしょうか。SNSの利用頻度が少ない私たち世代でもそんなことを感じるのですから、SNSが当り前の子供達でも同様に思っているのでは…。

友人に相談しながらも勇気を振り絞り話した時代は、表情や声の様子から相手の気持ちや感情が比較的容易に伝わる事ができた。しかし現在では嬉しい事、悲しい事、言い難い事など、様々な事が活字を並べてボタン一つで送信。そこには言葉足らずや表現不足により喜怒哀楽は伝わり難く、相手の解釈によっては本心に伝えたい事が伝わらないどころか、時に方向性を失ってしまう。二度失われた方向性は幾ら活字で表しても解決する事は非常に難しくなり最終的には会話で解決するしかなくなる。感じる。会話は相手を見詰め言葉と交わし自分の考えや気持ちを伝える事ができる。言葉で感情を表することは人が人として生きて行く上で無くてはならないコミュニケーションツールであり、感情豊かな人間形成を促すためにも欠かせない事ではないでしょうか。

時代は日々刻々と変貌を続け今後AIの時代における人と人との繋がり方がどのようになるか未知ですが、人工知能の時代となっても会話というコミュニケーションは永遠であつてほしいと願うばかりです。もし日常生活において、活字の会話が増えているとしたら、まずは家族との会話を楽しんでみては如何でしょうか。



活動報告

校外指導委員長  
五味 寿美

校外指導委員会は第二回九月、第二回十一月、と二回にわたり実施いたしました。本年度からパトロールの時間帯を下校時刻に合わせて茅野駅と周辺施設のパトロール生徒へ声かけを行いました。

第一回は九月三日(火)二班九名にて下校時刻から歩いて到着する時間を予測し午後四時から実施しました。全体的に三年生の生徒が多かったと思います。気になった事は東口のロータリー内を自転車で行く生徒が多く見られました。自転車置き場が奥にあるためそれも問題ではないかと言う声もありました。後歩きながらヘッドホンをしている生徒へ危険であることを注意しました。悪いことばかりではありません、子ども館チノチノを本校の生徒がよく利用しているようですが、あいさつもきちんとできており、マナーもよくとても気持ちよく利用していただいていますとの事でした。

第二回は十月六日(水)二班八名にて午後四時から実施しました。前回ロータリー内を自転車で行く生徒が多く見られました。今回は自転車を下校時刻から降りて歩いて歩く生徒が

多く見られました。駅前の派出所にもお尋ねしたところ特に問題はありませんでした。二回にわたり校外指導委員の皆さまには忙しい時間帯ではありましたが全員出席していただき生徒の安全確保のため活動頂きありがとうございました。全体的に乱れている様子はなく大きな問題も無くてよかったです。しかし油断は禁物です、スマホを片手に自転車を乗ったり、ヘッドホンをして周りの音に気づかずなんて事もよく見かけます。学校でも注意していただいています。私達親もきちんと子供達に声かけしなくてはならないなと思いました。

校外指導の長をやらせていただいて色々な講演会や会議に出席させていただきました。その中での出来事です。本校のほなほなはありません。子供が問題を起こしてしまい、警察に届ける前に親御さんに電話でして事情を説明して迎えに来て欲しい事を伝えた所その親御さんは謝罪もなく自分で帰らせてください。と、さて皆さんどう思われますか？お話をしてくださったおじさんはとても寂しそうにせつない。と…まずは私達親が考えなくてはいけない問題ではないだろうかと思われました。



どんな講師をお招きしたら…

講演会委員長

小池 嘉則

五月に開催されるPTA総会の講演会の企画立案が主な仕事となります。どのような方を講師としてお迎えし、PTAの皆さんに講演を聞いていただくか非常に悩むところが多くありました。昨年の講演会では、冬季オリンピック女子スピードスケートの小平奈緒選手

を指導されている信州大学の結城匡啓教授のお話でした。小平奈緒選手の指導方法や小平選手の自主性における選手生活など、興味深いことばかりでしたし、とても感動したこと覚えてます。私自身もスピードスケートをやつたのでとても参考になりました(四半世紀前に現役を終えています)その講演を聞いた直後に第二回の委員会があつたわけですが「どのような方をお招きしましょうか…」との質問に対し、非常に困つてしまいました。とは言え、この委員会は活動期間が最も長く、五月の総会から次年度の総会までの二年間という期間があります。

慌てずに講師を選ぼうと思いましたが、常にアンテナが高くなつたので、TVや新聞を見るたびにこの方はどうだろうかと考えていました。そんな中、来年五月の講師は二〇二〇年バンクーバー五輪アイスレスジホッケー銀メダリストで二〇二〇ではパワーステップインクでの出場を目指す馬島 誠さんに努めていただけることになりました。学生時代不慮の事故から下半身に障害を持ちながらも、

そのハンディを乗り越え長きにわたって競技生活を続けて来られた馬島さんの人生をお聞きます「バンクーバーへの道」と題した講演会です。令和二年五月九日に開始されますPTA講演会には是非とも大勢の皆さんのご参加をお待ちしております。





### 「雲外蒼天」

富士見地区 遠藤真郎

娘が入学して早一年が過ぎようとしております。思い返せば、中学での部活(ソフトテニス)においてちよつぴり褒められた事をきっかけに、どうせやるなら強い所へと考え、東海大諏訪高校にお世話になる事に。

いざ入学し入部希望を出すと、娘以外は皆さんスポーツ推薦。さらに部員数が奇数という事でペアが組めず一年間は試合に出る事は出来ないかもしれないという現実を知る事になりました。実質二年ちよつとしかない部活動のうち一年間試合に出られないとは。僕だったら悩むところですが娘は即決、入部する事になりました。

入部当初、力の差に落ち込み、皆さんの補助に徹する娘を見るのは親として決して楽しいものではありませんでした。「嫌になったら辞めてもいいよ」と何度も言った覚えがあります。しかし、娘は辞めるなどとは一言も言わず、黙々と練習に励んでおりました。

一度決めたら貫き通す事の大切さは分かっています。が、反面、貴重な青春時代を楽しく過ごしてもらいたいという親心もあり、娘以上に親が悩んでいた気がします。

今では他校の生徒と組ませて頂き、個人戦に出場させて頂いているのでとても楽しそうに部活に励んでおります。何事も子供が頑張っている姿を見る事は楽しいものです。

さて、部活の事ばかり書いてきましたが、勉強面についても少し触れたいと思います。

中学の頃は勉強が嫌いで嫌いでしょうがなかった娘。しかし、高校に入ってから勉強に目覚め、黙々と取り組んでおられます。

きつかけがさつぱり分かりませんが、とにかく勉強が好きになり、期末テストなどで示される学年順位に一喜一憂しております。

こんな感じで娘の一年が過ぎようとしています。親には分からない悩みもあったかとは思いますが、青春時代を謳歌している娘を見守るのは楽しいものです。今後も部活・勉強ともに頑張つて楽しい高校生活を送ってもらいたいと思っております。



### 「かけがえない存在」

永明地区 五味 奈美

息子が、バレーボールを始めるきっかけは中学に入学する前の、私との「部活どうする?背が高いからバレーボールでもやってみたら?」こんな会話でした。

その時の私は、息子の中でバレーがこんなに大きな存在になるとは思ってもいませんでした。「高校でもバレーをやりたい!」そのために東海大学付属諏訪高校へ進学したい!!と言われた時は正直驚きました。

しかし、中学で出会った他校の子達が今では仲間になり、日々一緒に練習をし、同じ目標に向かって頑張る姿を見てると、少しでも息子のためになるいいきっかけを作つてあげられたのかな、と今は思っています。

私は高校生の時、部活にも入らずなんとなく毎日を通して卒業してしまいました。いい事ばかりでなく、辛い事、嫌な事もあるかと思いますが、楽しそうにその日あった事や遠征中の事を話してくれる息子がなんだかキラキラして見えてとても羨ましいです。頑張る息子を応援出来る、幸せな気持ちでいっぱいな私でしたが一緒に応援していた主人が亡くなつてしまいました。心にはぽっかり穴が開いてしまいました。そんな私を救つて支えてくれたのは三人の息子達、家族、そしてたくさんの人達。

人は一人では生きていけないと言いますが改めて本当にそうだなと感じました。息子もバレー部の仲間や支えてくれる人、友達がいたから笑顔になれたのかなと。

息子が高校でバレーが出来る時間は、だんだん少なくなり終わる時がきます。その時まで私も一緒にたまたまに悩んで泣いて

その分、たくさん笑つていられたらいいです。

これからの人生、いろんな事があるかと思いますが、前を向いて自分を信じて仲間を信じて進んでいってほしいです。母として、少しでもその手助けが出来たらと思っています。

### 「私の野球人生」

諏訪地区 増澤 こずえ

私の野球人生が始まったのは、今から八年前。息子が小学校の野球チームにお世話になってから。土日といえは野球の練習、試合から始まり大会にと息子と共に野球に明け暮れる日々。中学校では更に野球へのめり込む人生。しかしながら野球の知識はほぼ皆無。そんな私がアドバイスをしたものなら、重い空気が流れることもしばしば。楽しみにしていた夏休み恒例の家族旅行もなくなり、いつしか野球の試合が何よりも楽しみに変つていきました。月日は流れ、心は東海まっしぐらの息子も念願叶つて東海大諏訪高等学校へ進学し、野球部へお世話になりました。早二年が過ぎようとしています。毎日のユニフォーム洗いは本当にツライ。恥ずかしいことに、息子は脱いだらそのまま。こんな息子にしてしまった自分を今更ながら悔やむ日々。そんな息子のありさまはさて置き、野球を続けてきたことで沢山の方々に巡りあえたことに感謝。現在も続行中であり、東海野球部の父・母様とは遠征先での飲み会、先日行われた必勝祈願での豚汁作りや新年会は楽しい思い出のひとつとなりました。

三年生が引退してからは、野球部保護者会での役割が増え、忙しそうにしている主人と共に私も野球部の子供たちと間接的に関わり合えること、そして高校野球という特別な環境で子供たちと一緒に過ごすことができる私はなんて幸せなのだろうと思います。また息子に関しては靴下が裏返しなのも、ワイシャツが脱ぎっぱなしなところもかわいらしく思えてくるから不思議なものです。「私の野球人生」はまだ少し続くのですが、この冬が終われば最高潮へ達することになる予定です。楽しみと寂しさが隣り合わせであります。いずれにせよ、私の人生は息子次第で何物にも変えられる。母親とはそんなものなのでしょう。か?なんて「親ばかなんだろう」とつくづく思いながらもそろそろ子離れをしなくてはならないのかな?できるかな?

と、ふと心配に思いますが、もうしばらくはこのままで…。高校生活も残り一年。野球を続けてきた息子には感謝の気持ちでいっぱいです。夏に向けて精一杯サポートしていきたいと思えます。



## 「JUNIOR HIGH SCHOOL」

下諏訪地区 本城 将道

娘がマネージャーとして所属する女子サッカー部が、今期の大会では一度も勝てなかったチームに新人戦で勝った時のことです。

十月、二年二年のチームになって新たな挑戦が始まりました。三年生の指導、応援も受けながら大会に臨んでいました。そして準決勝、好敵手の対決へと駒を進めることができました。

前半、両チーム得点は入らず、後半も終了間近。何度と危機を乗り越え、もぎ取った二点！勝利を確信して喜び合いました。しかし監督より「ここで集中だよ」と緊張感を高める声が投げかけられました。時間が経つのがこれほど長く感じたことはありませんでした。祈る中、試合終了のホイッスルが鳴り響きました。

全力を尽くして攻守全員で凌ぎ、勝利を掴んだ瞬間でした。試合終了後に全員で応援席に来て、三年生と勝利という喜びで、もみくちゃになっていました。その姿に、涙が溢れ出て止まりませんでした。

試合終了後、監督から「試合に勝つことが全てじゃないから」という話を聞きました。この試合は、まさにその事を深く感じられた試合になりました。選手一人一人が、自分自身にも負けていませんでした。そして仲間のことを考えて、今何をしなければいけないのか、何が求められているのかを考えてプレイが出来ていました。親としての目線を超え、一観客としてみても、強く心を動かされた良い試合だったと思います。

こんな素晴らしい時間を共有できたことに、心より感謝いたします。来年は北信越リーグ参戦が決まり、新たな挑戦が始まります。悔しい思いも多く経験するかもしれませんが、しかし仲間を信じて、チーム一丸となって協力すれば、必ず乗り越えられると思います。

高校生活での経験は、将来社会に出た時に、「協働」の考え方に繋げられます。体を鍛え、心を磨き、将来の希望を叶えるため、邁進し続けて欲しいと思います。これからの女子サッカー部の応援、そして東海諏訪校生の躍進のため、応援して参ります。

## 「良き友達と三年間」

岡谷地区 五味 好美

早いもので東海大学付属諏訪高等学校にお世話になり三年…卒業となります。

入学して数ヶ月の頃、進路調査がありました。何も決まっていない息子にとっては、かなり難しい選択。私が言える事と言えは「興味がある事は？今、決めなくても大丈夫だよ。」その辺で聞くあたりな言葉。

しかし、周りの友達は遠い、将来の夢に向い自分は何をするのか、これから何をしたいか、いけないのか。そんな考えをしつかりと持っている友達との日々の生活が、少しずつ自分は何をしたのか、その為には何をしたいか、いけないのか。考え教えてもらえる環境を作りだしてくれたのだと思います。

音楽部では、なかなか練習に参加できない中、友達に音を合わせてもらいながら、文化祭やLIVE、大会と参加する事が出来ました。

ステージに上がる時の子供達の、なんとも言えない緊張した顔、ここぞ!!という時の真剣な顔、盛上がっている時の笑顔、タイミングでのアイコンタクト…

一人では無い、音の速さ、大きさ、タイミング、立ち位置まで。仲間がいいな。数分間でも同じ事に向っている姿に、本当に嬉しくなります。口に出さなくても皆が笑顔になれる事です。いいです。

三年間の高校生活、仲間と多くの事を学んだと思います。楽しい高校生活は終わりますが、良き沢山の仲間との楽しく良い環境と思い出を忘れず進む道は違いますが、将来の夢に向かって、これからの人生もがんばってほしいと思います。

東海大学付属諏訪高等学校の先生方、三年間良い環境でご指導頂きまして、本当にありがとうございました。

## 「脚下照顧」

伊那地区 千葉 優子

「高校生活最後の弁当美味しかったです。ありがとう。」と言いました。「三月も終わりのある日、息子から送られてきたLINEです。私にとっては苦行のようだった(?) 弁当作りもこれで終わるとホッとした反面、もう卒業かと寂しくもありました。

三年前、「俺、東海で少林寺拳法をやる。」という息子に、家族はすぐには賛成できませんでした。少林寺拳法は四才から続けているとはいえ、週2回の習い事、運動系の部活動経験はありません。

小学校も中学校も徒歩10分以内でしたが、茅野の学校までは電車だけで時間かかります。そんな息子が、毎日往復三時間かけて通学し、部活動をするなんて生活は想像もできませんでした。

高校入学直後は、部活も学校生活も無事に続くか心配でした。しかし、少林寺拳法部の良き先輩、良き仲間にも恵まれ、厳しい中でも楽しく部活動が続けることができました。県大会、北信越大会、インターハイなどいろいろな大会に出場でき、多くの貴重な経験をさせていただきました。例えば、運動音痴な私から生まれた息子が、三年連続インターハイに出場するなんて夢のような話です。最後のインターハイは、団体戦で準決勝に進出することができました。二人一組で出場した組演武も、本人曰く「やり切った」とのこと。インターハイ終了後、部活を引退、受験勉強に入りました。正直なところ、8月からの受験勉強で間に合うのだろうかと思いましたが、先生方の応援もあり、なんとか希望の学部合格することができました。息子自身も「もっと勉強も頑張っておけばよかった。」と今頃になって気が付いたようです。

題名の「脚下照顧」は、少林寺拳法に入門すると、最初に習う事柄の一つです。少林寺拳法は「生続け」と息子は言っています。この三年間、学べることが多々あり、親子ともたくさんの思い出ができました。4月からは夢に向かってひとり暮らしがはじまります。「脚下照顧」地に足をつけてがんばってほしいと思います。



# 第56回建学記念マラソン大会

## 男子 (16km)

順位	年組	番	氏名	タイム
1	1B	22	立石 凌雅	1時間04分09秒
2	3E	16	塩原 颯也	1時間05分46秒
3	2F	22	下山 隼弥	1時間05分49秒
4	3F	35	山田 蓮士	1時間06分24秒
5	3D	16	所河 裕斗	1時間06分51秒
6	2E	15	小須田充輝	1時間06分52秒
7	3C	18	斉藤 佑馬	1時間06分52秒
8	2A	29	竹原 魁人	1時間06分53秒
9	2D	10	唐沢 龍太	1時間07分51秒
10	1D	21	多久和 龍	1時間07分54秒
11	1B	39	矢澤 結生	1時間07分58秒
12	3A	32	宮原 翼	1時間08分04秒
13	1D	31	町田 晴翔	1時間08分09秒
14	1F	34	宮下 裕翔	1時間08分17秒
15	2D	41	八幡 樹	1時間08分30秒
16	3F	25	忽滑谷隆聖	1時間08分34秒
17	3E	29	藤松 嶺	1時間08分35秒
18	1E	34	宮坂 樹	1時間08分39秒
19	1C	21	酒井 応太	1時間08分45秒
20	1E	13	金子 玲於	1時間09分24秒



## 女子 (12km)

順位	年組	番	氏名	タイム
1	3A	36	矢野 晴菜	54分05秒
2	3C	25	出羽 澤茜	56分04秒
3	1A	4	有賀すづな	56分36秒
4	2F	41	吉井向日葵	58分02秒
5	2A	26	高野 伊織	58分19秒
6	2J	27	山本 凜	59分24秒
7	3F	21	武原佑綺乃	59分29秒
8	1G	27	宮川 桜	59分30秒
9	3A	2	飯塚 涼子	59分37秒
10	3D	17	菅原 凪那	59分53秒
11	1G	26	三ツ石愛理	1時間00分07秒
12	2F	26	中尾 祐希	1時間01分30秒
13	2C	35	丸山 百萌	1時間01分35秒
14	1G	17	遠山 華萌	1時間01分40秒
15	1E	28	中村 優衣	1時間01分54秒

# 第27回吹奏楽部定期演奏会

2019年11月24日(日)に茅野市民館マルチホールにて第27回定期演奏会を行いました。一年間の集大成として、クラシックステージとエンターテイメントステージを企画し、老若男女が楽しんでいただけるよう一生懸命準備をいたしました。演奏会当日は、春の暖かさのような心地の良い天候に恵まれ、午前の部と午後の部を合わせて1000人を超える方にご来場いただき、ご来場になられた中には、茅野市長をはじめ、教育長、茅野国際クラブや同窓会役員の方々もいらっしゃいました。

クラシックステージだった第1部では、コンクールで取り組んだ保科洋作曲の「復興」を含め3曲演奏しました。その中で、ゲストとしてお越しくださったトランペット奏者の籠谷春香さん(第33回日本管打楽器コンクールトランペット部門1位、併せて特別大賞ならびに内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、東京都知事賞を受賞、他コンクール入賞多数。)との共演は生徒にとって大変良い体験となりました。

第2部では、「東海大諏訪メドレー2019～見つけよう、あなたの心のファンタジア～」と題して、お客様が楽しんでいただけるように、クラシック、アニメ音楽、ポップスなど様々なジャンルの音楽を生徒たちがまとめ、笑いあり、踊りありのステージをお送りしました。今年は初の試みとして、2年打楽器パートの古畑君がエンディング曲を作曲してくれました。この曲は、私たち吹奏楽部のテーマ曲として大切にしてゆきたいと思います。

たくさんの聴衆の中で盛大に幕を閉じた演奏会、1日2回公演のハードスケジュールをこなした生徒たちは、自信に満ち溢れ、この次の様々なステージに向け取り組める力になったと思います。



# 部活動紹介：スケート部

2019年12月17日(火)から19日(木)まで「エムウェーブ」で開催された「長野県高等学校総合体育大会スケート競技会」において「女子学校対抗総合優勝(3連覇)」を達成し、部員8名全員が2020年1月22日(水)から26日(日)まで北海道帯広市「明治北海道十勝オーバル」で開催された「全国高等学校総合体育大会(インターハイ)」に出場しました。

インターハイでは、女子学校対抗「準優勝」(2年連続)・女子チームバシュート準優勝・女子2,000mリレー第5位、個人種目でも女子1,000m準優勝・女子1,500m準優勝等、その他の種目でも多くの選手が入賞し、大活躍しました。今後の更なる活躍が期待されています。

2年生の「福岡 歩里」は、第87回全日本スピードスケート選手権大会オールラウンド選手権部門「女子5,000m優勝」・第43回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会「女子総合優勝」の結果を受けて、日本代表選手に選抜されました。

2月15日(土)からベラルーシ(ミンスク)で開催されるジュニアワールドカップスピードスケート競技会・2月21日(金)からポーランド(トマショフマゾウエツキ)に出場し上位入賞が期待される注目の選手です。皆様の応援、よろしくをお願いします。



長野県高等学校総合体育大会スケート競技会「女子学校対抗総合優勝(3連覇)」



女子チームバシュート



# 部活動紹介：男女バスケット部

男女バスケットボール部は昨年に引き続き、ウィンターカップにアベック出場しました。

女子バスケットボール部は12年連続出場となりましたが、惜しくも初戦で熊本県代表の熊本商業高校に敗れました。今大会には下級生も多く出場しているため、来年の活躍にも期待したいです。

男子バスケットボール部は、初戦の徳島県代表の明德義塾高校に危なげなく勝利しました。次戦ではアメリカのプロリーグであるNBAでも活躍し、日本でも多くの注目を集めた八村塁選手を輩出したバスケット名門高校の宮城県代表明成高校との試合は、序盤から一進一退の攻防が続き、前半は38対44と6点差で折り返した。しかし、後半はチームの要であるキャプテン黒川を徹底的に抑えられ、思うように攻められず、一気に26点差をつけられ敗退した。出場する選手1人1人が最後まで勝ちに貪欲にゴールに向かっていく姿勢は称賛に価する。また、男女ともに最後まで練習に励んだがメンバーに選ばれなかった選手もいる。その選手達の支えは大きく、チームの精神的支柱となり最後まで声援を送ってくれたことに感謝しなければならぬと感じました。





# かがやく部活動 栄光の記録

## 男子バスケットボール部

北信越高等学校新人バスケットボール選手権大会 2020.1.24~26  
2回戦敗退  
全国高等学校バスケットボール選手権大会 2019.12.23~29  
2回戦敗退  
長野県高等学校新人体育大会バスケットボール競技大会  
2019.11.29~12.1  
優勝 北信越大会

## 女子バスケットボール部

長野県高等学校総合体育大会バスケットボール競技会 2019.5.31~6.2  
優勝 北信越大会・インターハイ  
全国高等学校バスケットボール選手権大会 2019.12.23~29  
1回戦敗退  
長野県高等学校新人体育大会バスケットボール競技大会 2019.11.29~12.1  
優勝 北信越大会

## 男子バレーボール部

南信高等学校総合体育大会バレーボール競技大会 2019. 5.11-12  
準優勝 県大会  
第18回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会長野県予選会  
2019.6.23  
関島 佑斗 今井 駿世 優勝 全日本ビーチバレージュニア選手権大会  
中山 佳樹 伊藤 健成 第2位 全日本ビーチバレージュニア選手権大会  
第72回国民体育大会ビーチバレー長野県予選会 2019.6.30  
関島 佑斗 今井 駿世 優勝 茨城国体出場  
中山 佳樹 伊藤 健成 第3位  
長野県私立高等学校バレーボール選手権大会 2019.7.21  
第3位 北信越大会  
第18回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会 2019.8.9~8.12  
関島 佑斗 今井 駿世 第3位  
中山 佳樹 伊藤 健成 決勝トーナメント 1回戦敗退  
2019年度第7回北信越ビーチバレーボール選手権大会 2019.9.8  
関島 佑斗 今井 駿世 優勝  
第72回国民体育大会バレーボール種目(ビーチバレー競技)  
2019.9.12~16  
関島 佑斗 今井 駿世 グループ戦敗退  
南信高等学校新人体育大会バレーボール競技大会 2019.12.14~15  
第2位 県大会  
令和元年度 第25回全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会  
北信越第2次予選会[長野県・新潟県] 2019.12.21  
代表権獲得 全国大会  
令和元年度長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技大会  
2020.1.18~19  
ベスト8

## 女子バレーボール部

令和元年度長野県高等学校新人体育大会バレーボール競技大会  
2020.1.18~20  
第3位 北信越大会  
南信高等学校新人体育大会バレーボール競技大会  
2019.12.14~15  
優勝 県大会  
第72回全国バレーボール高等学校選手権大会 長野県代表決定戦  
2019.11.16~17  
第3位

## 野球部

2019年度諏訪地区高等学校野球大会 2019.10.19~10.27  
優勝

## 男子テニス部

令和元年度長野県高等学校新人テニス選手権大会 2019.11.2  
沖本蓮エリック 2回戦  
令和元年度長野県高等学校新人テニス選手権大会 南信地区大会

2019.10.14  
沖本蓮エリック 小林 龍史郎 ダブルス6位 県大会

## ソフトテニス部

長野県選抜ソフトテニス大会南信予選会 2019.11.9-10  
優勝 県大会

## 男子バドミントン部

南信高等学校新人体育大会 バドミントン競技会 2019.11.2~4  
優勝 県大会  
小澤 琉晟 シングルス 優勝 県大会  
高木 涼 シングルス 3位 県大会  
高木 涼 土橋 源太 ダブルス 優勝 県大会  
竹永 皇騎 小澤 琉晟 ダブルス 2位 県大会  
令和元年度諏訪地区高等学校バドミントン1年生大会 2020.1.12  
梶村 駿介 小澤 琉晟 ダブルス優勝  
小澤 琉晟 シングルス優勝  
梶村 駿介 シングルス2位

## 男子サッカー部

長野県高校サッカー選手権大会 2019.8.21~11.4  
ベスト8  
南信高等学校新人体育大会サッカー競技 2019.11.4~11.12  
優勝  
長野県高等学校新人体育大会サッカー競技 2019.11.29~12.8  
ベスト16

## 陸上競技部

長野県高等学校総合体育大会駅伝競走大会 2019.11.3  
5位  
第68回元旦競歩大会 2020.1.1  
小林 亮太 高校男子10km競歩 優勝 43:29  
長野県高等学校新人体育大会陸上競技大会 2019.9.20-22  
北岡 依生希 100m 第2位 12.48 -2.8 北信越新人  
小林 舞香 400m 優勝 58.41 北信越新人  
800m 優勝 2:15.24 北信越新人  
川口 ののほ 800m 第3位 2:20.31 北信越新人  
1500m 第3位 4:43.79 北信越新人  
(河野・遠山・川口・市川) 4×100mR 第2位 42.90北信越新人  
(中原・小林・山田・北岡) 4×100mR 第2位 49.67北信越新人  
(中原・川口・田中・小林) 4×400mR 第2位 4:03.58北信越新人

## スケート部

全国高等学校総合体育大会スケート競技会 2020.1.23-26  
女子学校対抗 準優勝  
女子チームバシユート 準優勝  
女子2,000mR 第5位  
第43回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会 2020.1.11-13  
女子チームバシユート 準優勝  
長野県高等学校総合体育大会スケート競技会 2019.12.18-19  
女子学校対抗 総合優勝(3連覇) 全国大会(インターハイ)  
第75回国民体育大会冬季大会スケート競技会 2020.1.29-2.2  
福岡 歩里 少年女子1,500m優勝  
少年女子1,000m第6位  
少年女子2,000mリレー準優勝  
両角 有乃 少年女子2,000mリレー準優勝  
全国高等学校総合体育大会スケート競技会 2020.1.23-26  
両角 有乃 女子500m第9位  
女子1,000m第4位  
福岡 歩里 女子1,000m準優勝  
女子1,500m準優勝  
矢崎 萌夏 女子3,000m第7位  
宮坂 菜緒 女子3,000m第9位

**第43回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会**

2020.1.11-13

福岡 歩里 女子総合優勝 世界ジュニア選手権 (日本代表)

宮坂 菜緒 女子総合第5位

矢崎 萌夏 女子総合第8位

**第87回全日本スピードスケート選手権大会**

女子オールラウンド選手権部門 2019.12.26-27

福岡 歩里 5,000m 優勝

総合 第3位 世界選手権

**第68回全信州スピードスケート選手権大会** 2019.11.30-12.1

福岡 歩里 女子総合優勝 (全種目優勝の完全優勝)

**卓球部****第2回諏訪卓球オープン大会(高校生女子の部)** 2019.10.27

山崎 莉緒 優勝(2連覇)

諏訪地区ジュニア卓球大会 2019.12.8

山崎 莉緒 優勝

**少林寺拳法部****長野県高等学校新人体育大会少林寺拳法競技大会** 2019.11.10

1位 全国高校選抜大会

浅川 友来 男子自由単独演武1位 全国高校選抜大会

戸井口 善人 横山 翔 男子自由組演武1位 全国高校選抜大会

鷹野 大地 矢島 瑞基 男子自由組演武2位 全国高校選抜大会

秋山 準弥 中村 拓豊 男子規定組演武1位 全国高校選抜大会

2019年少林寺拳法全国大会inあいち 2019.11.23~24

上條 琉聖 小山 諒 高校生男子の部 本選13位 252点

**柔道部****第42回全国高等学校柔道選手権大会 長野県大会** 2020.1.11

長坂 威生 無差別級 優勝 全国選手権

**チアリーディング部****第30回全日本高等学校チアリーディング選手権大会** 2020.1.25~26

初戦敗退

**第14回北信越チアリーディング選手権大会** 2019.6.8

初戦敗退 全国大会

**水泳部****長野県高校総体水泳競技大会** 2019.06.29~30

200mバタフライ

竹内友寿 2:18.68 6位 北信越総体進出

4×100mリレー

1. 荒井香名 2. 林美月 3. 戸田葵 4. 松下そら

4:35.09 8位 北信越総体進出

4×200mリレー

1. 松下そら 2. 荒井香名 3. 戸田葵 4. 林美月

9:43.15 6位 北信越総体進出

4×100mメドレーリレー

1. 木原愛理菜 2. 林美月 3. 荒井香名 4. 松下そら

5:05.45 7位 北信越総体進出

**長野県高等学校新人体育大会水泳競技大会** 2019.09.7~8

女子総合3位

男子総合5位

**弓道部****令和元年度南信高等学校新人体育大会弓道競技大会** 2019.9.21~9.22

男子団体戦3位 新人戦県大会

**長野県新人戦弓道競技大会** 2019.10.19~20

柴田和宜 個人戦3位 北信越新人

**北信越高等学校新人大会第9回北信越高等学校弓道新人大会**

2019.11.23

柴田和宜 男子個人戦2位

**女子ハンドボール部****長野県高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会** 2019.5.31~6.2

3位 北信越大会

**令和元年度第24回長野県高等学校ハンドボール1年生大会**

2019.9.14~15

3位

**令和元年度南信高等学校新人体育大会ハンドボール競技** 2019.10.6

優勝 新人戦県大会

**令和元年度長野県高等学校新人体育大会ハンドボール競技** 2019.11.1

ベスト4 新人戦決勝リーグ

**長野県高等学校新人体育大会ハンドボール競技大会**

2019.12.14~15

優勝 北信越大会

**令和元年度全国高等学校ハンドボール選抜大会北信越地区予選会**

2020.1.31~2.2

1リーグ1勝3敗 4位

**吹奏楽部****令和元年度長野県選抜吹奏楽団オーディション** 2019.10.20

2F古畑貴啓(打楽器) 2H鈴木華野(首席ファゴット奏者)

**第25回日本管楽合奏コンテスト 全国大会** 2019.11.4

優秀賞

**令和元年度 第45回長野県アンサンブルコンテスト高等学校部門 南信地区大会** 2019.12.22

打楽器8重奏金賞 県大会

**長野県大会** 2020.1.18

打楽器8重奏銀賞

**英語部****第28回岡谷市英語スピーチコンテスト** 2019.12.8

最優秀賞

**科学部****科学の甲子園全国大会長野県予選(情報分野)** 2019.11.17

理数科(春日・北原・清水・竹内・田野倉) 優勝

**部活動  
記録-2****編集後記**

「平成から令和へ」昨年5月に31年続いた平成に幕が引かれ、新しい年号の令和が始まりました。

私は「昭和のにおいがする」なんてよく言っていました。昭和はもう二昔前なんだ!!

時代が変わるのは早いなとつくづく思いました。

携帯電話を誰もが持っている時代、今やなくてはならない物だと思います。メールにゲーム、料金の支払い、一台で何でも出来る優れものです。昭和生まれのおっさんの私ですら携帯電話がなければ、仕事や生活に支障をきたす存在です。

何時でも、何処でも連絡ができる、令和の時代では当たり前のことかもしれませんが、昭和の時代では携帯電話など存在すらしていませんでした。連絡を取る手段はもっぱら固定電話、今の言葉で言うなら「家電」です。

彼女に連絡するには家電に電話するしかないのです!! 携帯電話みたいに持ち主が出てくれれば何の問題もないのですが、家電の場合は誰が出るかわかりません。「お父さんが出ませんように」なんて思いながら電話したものです。

二回コールしたら一旦電話を切って少し間をおいてもう一度電話する、なんて約束事をして彼女が出てくれるようにしたこともありました。

これを読んで「わかる〜!!」って方も多んじゃないでしょうか(笑)

古き良き時代なんて言葉がありますが、時代の変わり目でごんな事してたなと思ひ出しました。

デジタル時代にアナログな話も良くなって思ひます。

結びに、PTA会報にご支援ご協力いただきました保護者の皆様、中村校長先生、会報担当の杵渕先生、PTA担当濱先生はじめ教職員の皆様に感謝申し上げます。 会報委員長 宮坂 哲